

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



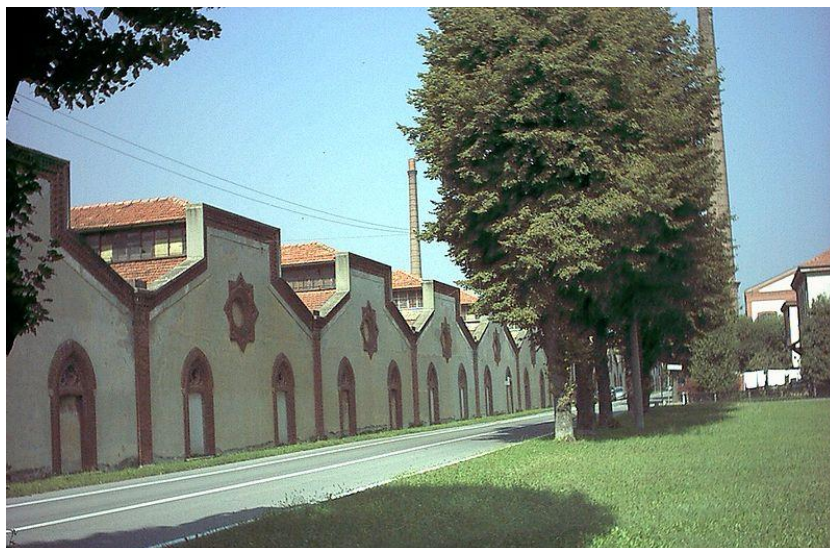
国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ
2018-19 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2018-19 年度国際ロータリーテーマ インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

第 36 回 例会 NO. 2448 2019 年 4 月 10 日 (水)

クレスピ・ダツダ



1995 年登録 世界遺産

■司会進行 浅野文夫 SAA



- ◆点鐘 渡邊元貴会長 12時30分
- ◆Rソング「我等の生業」
- ◆出席 会員 49 名
出席 34 名・欠席 15 名
- ◆出席率 73.91 %

◆結婚祝 【敬称略】

・4/7 鈴木正弘



おめでとうございます!

◆前々回出席率 66.66 % 修正後出席率 73.33%

◆欠席者【敬称略】

石渡正明・齊藤新一・嶋津正和・林田謙志
三沢 猛・大里光夫・近藤直弘・叶川博章
鶴岡大治・松岡邦佳・山中 恵・宮寺順子



ホームページ <http://ki-east-rotary.ala9.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 元 貴
幹 事 大 里 光 夫
編 集 勝 呂 泰 樹

国際ロータリー

RI 会 長 バ リー・ラ シ ン
地区ガバナー 橋 岡 久 太 郎
ガバナー補佐 吉 野 和 弘

■会長挨拶・報告

渡邊元貴会長



「病は気から」というではありませんか。確かに病気の原因が精神的ストレスによるものだという事はあります。兄弟が皮膚科を開業していますが、皮膚炎の原因が分からないことがとても多いということで、また、疾患の原因にストレス

が関わっていることは間違いないようです。

実は私は十数年前までは、人より早死にをするだろうと予感していました。私は、若い時から肝臓を患っていきまして、健康診断ではいつも慢性肝炎と診断されておりました。普段はあまり気にしていないようでも、診断結果を見ればどういふ病気が、そして、自分の予後を理解するようになっていきましたので、自分はきっと早く死ぬだろうという思いが常に頭の片隅にあったのです。

しかし、私の肝炎はいつの間にか完治してしまいました。治療は一切していません。十数年前までは、会社経営において精神的に追い詰められることが数々ありまして、この際、会社も畳んでしまおうかと思うようなところまで悩んでいましたが、この試練をクリアした後の健康診断ですべての肝機能の指標が正常値を示していました。

それ以来、「病は気から」という言葉を心から信じるようになりまして、病院にいくということがほとんどなくなりました。すべては、気力で治るのだと。

そんな中、私は外耳炎を5年ほど患っていました。綿棒でお風呂上りに掃除するのが好きで、習慣でしたが、実はこれが耳には一番いけないのだそうです。ちょっとした傷からばい菌が入ったのでしょ。綿棒で拭けば刺激されてまた炎症がひどくなる。ひどくなるとまた耳垂れがでる。また綿棒を使う。この繰り返しで、私の右耳はいつもただれていました。私自身は、「気力の充実をはかる」ために、筋トレをしたり、歩いたり、坐禅に取り組んだりといろいろ試みながら、医療機関へ出向くことはせずに、ずっと放置していたのです。心をもっと明朗にすることで必ず治ると。。。家内も厭きれておりました。

その結果、5年間放置、我ながら本当に意志が強いほうだと思います。

あるとき、外国人実習生が耳鼻科受診に行くので送迎をしてやってほしいとのこと。自分からは病院に行くことなどなかった私ですが、その実習生の症状がまったく自分と同じだったので、家内にも促され、私もついでに診てもらおうことにしたのです。「外耳炎ですね。今日から綿棒をやめてください。」ドクターから丁寧な説明を受けました。薬を処方されました。薬を付けました。3日で治りました。

健康には、精神力も医療も両方必要です。家内に促されて受診してよかったですと思います。自分の凝り固まった常識を疑うことも大切ですね。



■幹事報告

藤永範行 副幹事



本日は、幹事不在のため、副幹事からの報告です。

1. 第10回理事会報告

出席者 9名+事務局

◆審議事項

- ① 2019年3月分収支報告の件。→承認されました。
- ② 4月28日(日)春の野外例会の件(ハイキング例会) →会員・家族 2000円で承認されました。
- ③ 第3回木更津市チャリティーゴルフ大会後援の件→承認されました。

◆報告事項

- ① 「太田山公園に桜を植える」プロジェクトへの地区補助金申請をしました。
- ② 次年度役員・委員長(必要とする委員会)の名刺作成を発注いたしました。【発注先オクトン】

1. 幹事報告

1) 特になし

2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 富津中央 RC・木更津 RC・袖ヶ浦 RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 1) 富津中央 RC・君津 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

1) 特になし。

4. 回覧

- ・ 富津中央 RC・木更津 RC・袖ヶ浦 RC より「例会変更のお知らせ」
- ・ 富津中央 RC・君津 RC より「週報」

■委員会報告

◇ゴルフ愛好会

坂井健治会員



第3回木更津市福祉チャリティーゴルフ大会のご案内がありました。

・実施期日 令和元年
7月4日

・会場
アクアライン
ゴルフクラブ

・申込締切

6月14日

・参加費 3,000円 プレー費 7,000円

◇ニコニコボックス クラブ管理運営委員会
小林千晃会員



・鈴木正弘会員
4月7日の結婚記念日には素晴らしい花束をありがとうございました。連れ添って59年感謝しています。

・勝呂泰樹会員
本日、房総ファミリア株式会社代表取締役

浦邊優【うらべまさる】様をお呼びして卓話をさせていただくことになりました。浦邊さんのお父様も当クラブの会員でしたので、是非入会していただきたいなと思います。今日は宜しくお願い致します。

・浅野文夫会員

今年は野球が面白い！ジャイアンツもいいけど日本製鉄かざさマジックも、これまでにない活躍が期待できます。期待で終わらせないために木更津東クラブをあげて応援していきます。四国大会は惜しかったです。

■例会アワー

IT活用委員会 委員長
IT活用委員会副委員長

勝呂泰樹会員
小林裕治会員



司会進行は IT 活用委員会の小林裕治会員です。

本日は、房総ファミリア(株)浦邊様に卓話をして頂きます。、房総ファミリア(株)創立50周年という事で貴重なお話も出てくるかと思えます。



テーマ

「高度情報社会における地域メディアの役割」

房総ファミリア新聞

代表取締役 浦邊 優 様



木更津東ロータリークラブ様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、父の浦邊恒夫が木更津東ロータリークラブ様の会員として在籍させて戴き、大変お世話になりましたことに、この機会をお借りし

てお礼を申し上げます。



また、当社が発行している「房総ファミリア新聞」は昭和44(1969)年6月に「PRきさらづ」の名称で木更津市内へ発刊、名称を「房総ファミリア新聞」と変え配布エリアを木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市に拡大し、地域の方々に明るく身近な話題をお届けする生活情報紙として発行を続け、御世代わりの本年、発刊50年を迎えることとなります。これもここにいらっしゃる方々や多くのクライアント様と読者の方々のご支援、ご協力のお陰と重ねて感謝致しております。

私自身についてお話をさせて戴きますと、男兄弟の三男で家のことや家業の将来のことについてあまり責任のない気楽な立場で学生時代を過ごしていました。自分が高校生の頃、コンピュータというもの世の中に普及し始め、パーソナルコンピュータも世の中に出回るようになりました。そこで、とりあえずコンピュータの技術を学べば将来役に立つと思い大学に進学させて戴き、人工知能(AI)に取り組んでいた研究室で知識表現システムについて学びました。その一方で世の中は通信の自由化が進み、国内・国際の通信サービスを提供する会社が設立されて新たな通信サービスが提供され始めました。そこで大学卒業後は通信会社に入社し、コンピュータとコンピュータを繋ぐネットワークシステムや国際FAXシステムの構築などコンピュータとコンピュータを「繋ぐ」仕事に関わってきました。

ちょうどその頃、いわゆるインターネットが米国で普及しはじめ、日本でも学術研究機関で利用され始めるようになりました。自分が携わってきた通信における「繋ぐ」という仕事は、インターネットが普及すれば必要なくなってしまうことになると感じ、今後必要になってくることは何かと考えると、世の中に役立つ「コンテンツ」の提供ではないかと考えるようになりました。

当時、父が地元で出版など地域メディアの事業に携わっていたことから、地域情報という「コンテンツ」を地域内外に発信し易くなる機会であると思い、地元に戻ってくることにしました。

タイトルの中の「高度情報社会」という言葉は、情報通信技術の急速な発展、いわゆるIT革命により情報流通が活発になった社会のことです。私が言うまでもない現在ではスマートフォンなどの情報端末で様々な情報の入手が可能となり、SNSなどを活用して誰もが手軽に情報を発信・入手することができるようになり、商取引やサービス提供、電子決済など、様々な分野で社会に変化が起ってきています。便利になった反面、デジタルデバイド、メディアリテラシー、サイバーセキュリティ、知的所有権など様々な課題も生まれてきたのはご存知の通りです。

さて、このような時代の中で、「地域メディア」

が果たす役割について、考えてみたいと思います。まずは、人は情報を基に動くので、情報が得られないと無いと一緒にになってしまうという事です。インターネット上では顕著で、検索して出てこないと同じことになってしまうという恐ろしさがあります。皆様もウェブページや SNS で情報を発信されていらっしゃると思いますが、多くの方がネットで情報を入手している状況を考えると、好むと好まざるとに関わらず、情報を発信していかななくてはなりません。地域の情報も同様に、ネット上で発見されない情報は、無いものになってしまうので、誰かが情報を発信していく必要があります。もっと積極的に考えれば、地域の魅力をネット上で発信することで、地域外の多くの方に地域の情報を提供することが可能になったということです。

また情報の信頼性という面について考えてみたいと思います。世の中が乱れてくると、エロ・グロ・ナンセンスが流行り出すと聞いたことがあります。最近、フェイクニュースという言葉が耳にしますが、これなどはデマコギーというナンセンスが流行りだしてきているのだと思いますし、その情報で人々の行動が変わってしまうので、ちょっと困った世の中が乱れてきているように感じているのは私だけではないと思います。メディアリテラシーにも繋がりますが、匿名の無責任な情報に踊らされるのではなく、地域の情報の信頼したソースの役割を地域メディアが果たしていくことになると考えています。

さらに地域メディアならではの役割としては地域の視点で情報の収集・編集・発信をするということです。グローバルな視点で見れば主要都市はニューヨーク、ロンドン、パリ、東京…、全国の視点で見れば東京、大阪、名古屋…。このような視点では木更津の情報が取り上げられることは殆どありません。しかし、当たり前のことです。木更津にも毎日、様々な出来事が起こっています。その情報を取り上げる発信することが地域メディアの大きな役割であると考えます。

現在、瞬時に全世界の情報を入手することができるようになりました。しかし日々の暮らしと営みにとって大切な情報とは何かを見直して見る必要があると思います。そして、それが地域の情報であると思うのです。

まもなく「令和」という新たな時代を迎えます。昭和、平成そして令和と時代が変わっても房総ファミリア新聞は紙面やインターネットなど様々なメディアを通じて、地域の情報を地域内外の方々に発信し、地域の活性化に微力ながら役割を果たして参りたいと思っております。引き続き、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



夢が膨らむ楽しいお話でした！有難うございました。

点鐘 渡邊元貴会長 13:30

★ オークラアカデミアパークホテル 例会食事

本日のメニュー

- | | | | | | |
|--------|-----|-------|------------|------|-----------|
| 水菓子 | 食事 | 蒸し物 | 焼き物 | 造り | 小鉢 |
| パイナップル | 白飯 | 小田巻蒸し | 豚肉のトマト照り焼き | 鯛薄造り | 筍の木の芽味噌和え |
| 苺 | 香の物 | 大根卸し | 大根卸し | 紅卸し | 青葱 |
| | 味噌椀 | クレソン | | ちり酢 | |

